

# やざわ 矢沢たかお

自由民主党 川崎市議会議員

NEWS

Photo: 菅生2丁目にて撮影

Vol 16  
2019September  
~2019November  
討議資料



みなさん、こんにちは。川崎市議会議員（宮前区選出）の矢沢孝雄です。  
早いもので今年も残すところわずかとなりました。10月22日には即位礼正殿の儀が執り行われ、我が国全体が祝意に包まれました。その一方で、台風15号及び19号により多くの方々が被災され、本市においても甚大な被害が発生しました。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げると共に、一日も早い復旧復興と国土強靭化に向けた議論を重ねて参る所存です。今回は10月に閉会した第4回定例会に関する報告と、川崎市ふるさと納税推進に関する特集をお伝えして参ります。

かわさき市議会では、前年度決算を審査する定例会を毎年9月から10月にかけて行っています。決算審査は、市の予算が適法に目的どおり使われたかという観点から審査し、翌年度の予算編成や将来の財政計画に反映するという重要な役割を担っています。

決算審査のながれ 58人の議員で構成されています。

決算審査特別委員会（全体会）

市長側から決算議案の説明が行われた後、下記5つの分科会で詳細に審査

総務分科会

市民分科会

健康福祉分科会

まちづくり分科会

環境分科会

総務分科会

市民分科会

健康福祉分科会

まちづくり分科会

# 第4回川崎市議会 定例会のご報告

## 川崎市議会定例会 9月議会

令和元年第4回定例会において、斎藤伸志副団長(高津区選出)が9月11日に代表質問を実施。

保育事業費や高齢者対策費の増加に伴い膨らみ続けている「扶助費」について市の見解を伺いました。940億円(H30)→1200億円(R9)と予測されており、その上限の見込みを質問し、「上限を見込むのは困難(財政局長)」との答弁でした。理由として「長期にわたる客観性のあるデータを確保できない」「今後の制度変更が想定し難い」とのことです。増加し続ける扶助費をどう抑制しながら、成長戦略を描いていくのかが求められています。

今後の財政運営等についての質問も行いました。ふるさと納税による減収や3年連続で普通交付税の「不交付」継続、減債基金から133億円の活用、令和2年度は90億円の收支不足になる見込み等、厳しい財政運営になっています。「必要な施策・事業の着実な推進と財政の健全化による持続可能な行政財政基盤の構築の両立に向けた取組が必要と考える(財政局長)」とのことで、市は人口増加や景気の上向きによる増収に頼るばかりではなく、より厳格な姿勢で財政健全化に臨むよう求めてまいります。



上：山崎直史議長  
下：斎藤伸志副団長

## 環境先進都市に むけた取組の推進

プラスチックごみ削減にむけスマートライフスタイル大賞最優秀賞を受賞した富士通株式会社川崎工場の取組をモデルとし、環境意識の醸成や環境配慮行動を重視し、職員への意識啓発を行うことが確認されました。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

## ヘイトスピーチ対策 ～(仮称)川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例(素案)～

「解消法」成立以降、ヘイトスピーチは「なかった」と市が明言。しかし、「不適切な言動」ありと。罰則条例制定の意向の理由を、市長は「本市は立法事実ともなったデモが行われ、今なおそのような行為が再現されかねない事象が継続している『地域の実情』がある」為と答弁しました。今後も文教委員会等で議論していきます。

## 東京2020オリパラ に向けた誘客

現在、多言語によるホームページやSNS活用等、情報発信をしている。今後は日本在住の外国人向けに、カワサキハロウィンや工場夜景の鑑賞、川崎大師での体験を合わせたモニターツアーの実施により、インバウンド対策を行うとともに、イベントカレンダー制作・表示の充実等を行っていくことです。

## 矢沢たかお プロフィール

- 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる(34歳)
- 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業
- 法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部 卒業
- 平成20年 伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社・平成26年 政治活動に専念するため同社を退社・平成27年川崎市議会議員(宮前区)初当選・平成31年二期目当選
- 趣味：剣道四段(五段に向け修行中)、空手二段、書道 毛筆三段 硬筆二段
- 家庭：妻・息子

## 特集

# 流出額56億…大きく動く 川崎市のふるさと納税対策!!

## 流出額56億!という現状 全国ワースト

ふるさとに貢献や応援をしたいという納税者の思いを実現させるため、応援したい自治体に対し寄附を行った場合に、所得税及び個人住民税の一定額を軽減する制度として創設されたふるさと納税制度ですが、本市における平成30年度の流出影響額は44億円となり、過去最大の減収額となりました。他の地方自治体は、ふるさと納税による減収額はその75%が普通交付税という形で国から補填されますが、本市は不交付団体のため、減収がそのまま財源悪化につながります。さらに、令和元年度は56億円となる見込みであり、看過できる状況にありません。

### 川崎市における「ふるさと納税」による減収額



### 56億円分の行政サービスとは



保育園の運営費なら  
園児約3,500人分



ゴミ収集・処理経費なら  
全世帯の約4.6割相当

## 川崎市ふるさと納税推進本部の立ち上げ

川崎市においても返礼品、充当事業について検討がスタート。和洋菓子、肉や魚の加工品、酒、飲料品、各種施設・サービスの利用券等、募集には34事業者、165品目以上の応募があり、選定作業を経て10月1日にポータルサイトの運用がスタートしました。これまでの返礼品の推移は下記のとおり。

記念品19品目 → 10月登録済返礼品145品目 → 11月登録済返礼品207品目  
(川崎を体感! - 寄附へのお礼 - 「観る」44、「体験する」54、「味わう」90、記念品19)



川崎市(財政局財政部資金課)

川崎フロンターレサイン入りユニホーム M~L~XL (川崎フロンターレのユニフォームに選手のサインが記載されたもの)



セレサ川崎農業協同組合

川崎市内産新鮮農産物詰め合せセット(大型農産物直売所「セレサモリ」に出售されている市内産農産物の詰め合わせ)



なんべいの木

なんべいの木、かわさき名産セット(宮前ペーナ(ツツジ餅1個づつ12個)、くるみの家(エンガディーネ3個))

こちらは返礼品の一部です。

寄附者

## 「ガバメントクラウドファンディング(GCF)」!!

ふるさと納税の寄附金の使い道をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みであるガバメントクラウドファンディングという手法の検討も進んでいます!!今後の取り組みとして、他都市事例を研究し、多くの方から寄附していただけるよう、寄附の使途が明確で事業の成果が実感できるメニューの導入に向け取り組んでまいります。

